

研究業績リスト

服部 聡

著書・学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年 月 日	発行所、発表雑誌等 又は 発表学会等の名称
[著書]			
(1)伊藤之雄・川田稔編『二〇世紀日米関係と東アジア』 第6章「松岡外交と太平洋戦争」	編著	2002年4月	風媒社
(2)波多野澄雄・戸部良一編 『日中戦争の軍事的展開』 第3章「盧溝橋から南京へ」	編著	2006年6月	慶応大学出版会
(3)服部龍二・土田哲夫・後藤春美編 『戦間期の東アジア国際政治』 第11章「有田八郎と『東亜新秩序』」	編著	2007年6月	中央大学出版会
(4)五百旗頭眞編『日米関係史』 第5章	編著	2008年3月	有斐閣
(5)軍事史学会編『日中戦争再論』 「日中戦争における短期決戦方針の挫折」	編著	2008年3月	錦正社
(6)佐道明広・小宮一夫・服部龍二編 『人物で読む現代日本外交史』 「松岡洋右」	編著	2008年12月	吉川弘文館
(7)佐道明広・小宮一夫・服部龍二編 『人物で読む近代日本外交史』 「有田八郎」	編著	2009年1月	吉川弘文館
(8)筒井清忠編『解明・昭和史』 「日独伊三国同盟」	編著	2010年4月	朝日新聞社
(9)Mark Peattie, Edward J. Drea, ed. <i>The Battle for China</i> (2012 Society for Military History distinguished book award)	編著	2010年12月	Stanford University Press
(10) 養原俊洋編『戦争で読む日米関係』 「日中戦争からと太平洋戦争へ」	編著	2012年6月	朝日新聞社
(11)『松岡外交 一対米開戦にいたる国内要因 と国際関係』	単著	2012年12月	千倉書房
(12)Masato Kimura, Tosh Minohara, ed. <i>Tumultuous Decade</i>	編著	2013年3月	University of Toronto Press

著書・学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月日	発行所、発表雑誌等又は 発表学会等の名称
<p>[論文]</p> <p>(1) 「阿部・米内内閣期における自主外交の展開」</p> <p>(2) 「松岡外交と南進政策」</p> <p>(3) 「第一次世界大戦と日本陸軍の近代化－その成果と限界」</p>		<p>1998年7月</p> <p>1999年3月</p> <p>2008年12月</p>	<p>『六甲台論集』法学政治学編第45巻第1号</p> <p>『神戸法学雑誌』第48巻第4号</p> <p>『国際安全保障』第36巻第3号</p>
<p>[書評]</p> <p>(1) Edward S. Miller, <i>Bankrupting the Enemy</i> Annapolis:US Naval Institute Press,2007</p>		<p>2008年12月</p>	<p><i>Social Science Japan Journal</i> Volume11 Number2 Winter2008</p>
<p>[その他]</p> <p>(1) “From the Marco Polo Bridge Incident to Nanking”</p> <p>(2) “Rethinking Matsuoka diplomacy”</p> <p>(3) 『国際政治事典』において「インドシナ進駐」「ABCD包囲網」「ミッドウェー海戦」「泰緬鉄道」「東京大空襲」を分担</p> <p>(4) 「軍部の台頭と抗日運動 1932-36」 学研ムック『大日本帝国の興亡』第4巻</p>		<p>2004年1月</p> <p>2005年3月</p> <p>2005年7月</p> <p>2012年6月</p>	<p>Conference on the Military History of the SINO-JAPANESE WAR, 1937-1945: The Development of the Sino-Japanese War (Hawaii) に提出した英文ペーパー</p> <p>Association for Asian Studies : Japan's Diplomatic Path to Pearl Harbor Panel (Chicago) に提出した英文ペーパー</p> <p>弘文堂</p> <p>学研</p>
<p>[学会発表]</p> <p>(1) Conference on the Military History of the SINO-JAPANESE WAR, 1937-1945 :The Development of The Sino-Japanese War (Hawaii)</p> <p>(2) 日本国際政治学会 日本外交史部会 「真珠湾への道」</p> <p>(3) Association for Asian Studies :Japan's Diplomatic Path to Pearl Harbor Panel (Chicago)</p> <p>(4) 日本政治学会 「昭和の外交官」</p>		<p>2004年1月</p> <p>2004年11月</p> <p>2005年3月</p> <p>2008年10月</p>	